

■ 医学界の巨星

# 二木 謙三

ふたき けんぞう

出身地 秋田市

1873年（明治6年）～1966年（昭和41年）

せきりきん こまごめ きん きん そこうしょう  
赤痢菌の駒込A菌・B菌、鼠咬症スピロヘータを発見

ふたき せきり ていしょう  
見、二木式赤痢分類表を発表。保健学を提唱し、

ふくしき こきゅうほう げんまいしょく ふきゅう こまごめ  
腹式呼吸法や玄米食などの普及に努めた。駒込病

院長、東京帝国大学教授、日本伝染病学会長。本

県初の文化勲章受章者。



## 年譜

- 1873年 秋田市に生まれる。旧姓・樋口。きゅうせい ひぐち
- 1901年 東京帝国大学医科大学卒業。ていこく
- 1903年 コレラ菌の多型説提唱。きん ていしょう
- 1904年 赤痢菌の駒込A菌・B菌発見。赤痢分類表を作成。せきりきん こまごめ きん きん せきり
- 1905年 ドイツ・ミュンヘン大学に留学。免疫学を研究。めんえきがく
- 1909年 医学博士となる。
- 1917年 高木逸磨らと鼠咬症スピロヘータを発見。いつまろ そこうしょう
- 1926年 日本伝染病学会設立。でんせんびょう
- 1955年 文化勲章を受章。くんしょう
- 1966年 東京都で没。93歳。ぼつ さい